

5月の国会請願へ ひとり10筆 頑張りましょう

長水南支部田島隆事務局長のとりくみ



長野県版
第504

2023年2月15日

治安維持法国際同盟

長野県本部

〒380-8790
長野市県町593
高校会館内

連絡 竹村利幸方

TEL・026-226-0854

FAX・026-266-0864



田島隆さんが近所に配った3種の署名等

「国賠同盟署名」「学校給食無料化署名」「としより通信」の3種



《写真 田島隆さんと「ひとミュージアム」の標識》

美術館に届けてくれる人もいるとのこと。田島さんのお話を聞いてみると、心が温かくなります。田島さんの国賠への加盟は昨年、映画「千代子」の原案者・藤田廣登さんが、東京の仲間と「ひとミュージアム」に来られたとき、「上野誠をやっておられるなら、国賠同盟に入らなければ」と誘われ会員に。いま、長水南支部を立ち上げ、事務局長として奮闘中。

署名にご協力ありがとうございました。給食署名は2月県議会に、治安維持法署名は5月17日 国会に提出します。今後ともよろしくお願いします。ひとミュージアム・田島隆

田島さんは10年余にわたり、政治や文化、身近な話題などをテーマに自作の「としより通信」をつくり、毎月1度自分の家の周り400軒に配ってきました。通算197号になります。近所の人には「としより通信の田島」として知られているとのこと。今回は「としより通信」と一緒に、「国賠請願署名」と「小中学校給食無料の署名」を配布しました。署名と一緒に「明日の午前、署名の回収に来ますので、外から見えるように郵便受けにはさんでおいてください」と一筆を。そして178筆が寄せられました。署名をいただいた家のポストには左記の礼状を入れます。

「としより通信」とともに隣・近所に400枚配布
178筆届けられるー回収するのが楽しみ!!
終日、小雨がそぼ降る2月中旬、川中島の「ひとミュージアム」(田島隆さんが館長の「上野誠版画館」を訪ねました。同美術館は、平和をテーマに2001年に開館。美術展をはじめ講演会やコンサートなど企画・開催しています。

手記 いま、がんばらねば!!

木曾・塩尻支部 三浦 みを

▼何だか元気がでなくて、国障同盟の署名も集めないままに時が過ぎていた。これではいけないと、地方選がんばろう! の諏塩木の演説会に署名を持っていこうと決意。署名してもらう場所ややり方をもう少し工夫したらよかったけれど、隅っこの方でなんとか24筆。娘と史朗も手伝ってくれて。一歩踏み出せただけでもよしとするか!

▼井上さとしさんの演説会(2月11日)。いつもの温かい語り口で日本の政治のほどさを語り、今こそ日本共産党の歩んできた不屈の歴史を學ぼう。そして政治を動かす力となる宝の議席をみんなで勝ち取るう!と訴えた。

▼井上さとしさんのお話の中に、コスタリカの話があった。コスタリカは日本よりずっと小さい国。軍隊を持たない国コスタリカ。本当は唯一の被爆国日本が、世界から核兵器をなくす運動の先頭に立たなければいけないのに、とてもそうならず。コスタリカが指導的な立場に立ち、大きな役割りを果たしていると。

そう、息子・史朗はコスタリカ生まれ。その国が素晴らしい働きをしている、と言ってもらえてとてもうれしかったみたい。

▼演説会のあと井上さとしさんが署名のところを通りかかったので、コスタリカのお話ありがとう!、と伝えると史朗と固い握手。史朗の目めぐりカレンダーを国会の議員会館にかざります、と買ってくださった。

▼嬉しい嬉しい演説会になった。少しずつでも自分のできることをやっ



《同盟会員のみなさん・史朗さん》

ていこう。このままみんなが黙っていて本当に戦争に突き進んでしまつたら大変。声に出さなければ。多喜、や下代子さやたくさんの先人たちが、「今こそがんばりどき!」と背中をおしてくれている気がする。

▼演説会から1週間が経った。新聞の配達しながら署名30ぐらい集めた。コツコツ少しずつ。今日は史朗のお迎え。頑張ってお仕事もできていい顔でかえってくれた。よかったです。

―第76回解放運動無名戦士追悼会―

県同盟関係者 7名を合葬

今年3月18日、東京青山霊園で76回解放運動無名戦士の合葬追悼会が行われます。長野県からは11名の方が合祀され、その内、同盟県本部関係では7名の方です。合葬される方々の進歩と革新、平和と民主主義のため活動された遺徳をしのび、その志を受け継ぐことを誓い、ご冥福をお祈り申しあげます。同盟関係の7名は、次の方々です。

《青山霊園の無名戦士の墓》



- ▼ 牛山 晴一(茅野原富士見支部) 6月23日―87才
- ▼ 草間 敏雄(中信支部) 5月26日―80才
- ▼ 竹花 政彦(佐久支部) 5月26日―84才
- ▼ 竹村 美幸(茅野原富士見支部) 10月24日―88才
- ▼ 林 隆男(上小支部) 11月21日―76才
- ▼ 吉澤 房斎(長水南支部) 7月9日―69才
- ▼ 渡辺 道弘(中信支部) 5月23日―88才

核兵器禁止条約を広げる長野ネット

外務省へ署名5万筆を提出

長野県原水協・同原水禁・県生協連など幅広い市民団体で構成する「核兵器禁止条約を広げる長野ネット」の代表7名は、1月24日、外務省の武井俊輔外務副大臣に核兵器禁止条約の批准を求める県民署名・5万586筆を提出しました。この外務省交渉の段取りは、市民と野党の統一候補・杉尾秀哉さんが取り計らいました。

「ネット」の代表世話人前座明司さんは、日本は唯一の戦争被爆国として「核兵器の禁止・廃絶へ、世界をリードすべきだ」と率直に指摘、また、代表世話人である善光寺白蓮坊住職の若麻績敏隆さんは、平和と戦争にとって「一番の害悪の核兵器は禁止しなければならない」と指摘しました。これに対し、武井副大臣は「長野県民5万筆の署名の重みは、十分に感じている。5月のヒロシマでのサミットのテーマにもなる」と述べました。



外務省前で署名提出者一同

県内外の動き

小中学校給食費の無料化署名を県に提出

明るい県政をつくる県民の会

「明るい県政をつくる県民の会」は、2月8日、長野県と県教育委員会に、小中学校の給食費無償化の県民署名、2万5千余筆を提出しました。会の代表委員である金井忠一さん（昨年8月、知事候補として奮闘）が、内堀繁利県教育長に手渡しました。

給食費の無償化要求は、昨年の知事選挙の中で、急速に県民要求として浮上、その後は要求署名となって県民



の中に急速に広がり、県を追い詰めています。全国的には、254の自治体が完全無償化を実施、小学校のみが6校、中学校のみが1校となっています。長野県では、77自治体のうち19自治体が無償化となっていますが、県が無償化政策に踏み切ったならば、市町村での無償化は、挙に実現します。いま、もう一步のところまで来ています。頑張りましょう。

敵基地攻撃・大軍拡許さない全国署名

各9条の会・各団体は全力で

岸田内閣は、昨年12月16日、国会にも国民にも諮ることなく、安保3文書を閣議決定。これまでの専守防衛の基本路線を投げ捨て、アメリカと一緒に戦争できるミサイルなどの大軍拡を行い、そのために防衛費を今の2倍の11兆円に。今後5年間で43兆円の軍事費に大増額するというものです。

基、1と2億円もする巡航ミサイル・トマホークを500基も購入する。この大軍拡、大増税で日本の軍事費は、米・中に次ぐ世界第3に急浮上。アメリカの要請にこたえた大軍拡です。

全労連を中心とする「憲法を守り・いかに共同センター」は、安保放棄、国民大運動実行委員会とともに、「平和、いのち、くらしを壊す大軍拡、大増税に反対する署名」を提起しましたが、この署名を「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」で取り組むことになりました。各団体ともに、学習と行動、署名にただちに取り組みしましょう。

飯田市平和祈念館

「加害と被害」戦争の実相を伝える

飯伊支部 原 英章

飯田市平和祈念館は、昨年5月にJR飯田駅前の飯田市公民館3階にオープン。戦争の悲惨さと平和の尊さを次世代に伝えるための平和祈念館です。しかし、731部隊についての証言展示が差し止められ、今、新たな市民運動が起きています。

何があったのか 731部隊の展示パネルをめぐる

飯田平和祈念館の開館準備は順調に進んでいました。731部隊についての説明、部隊で働いていた長野県出身の4人の証言など予定の展示パネルの原稿はすべて完成していました。開館のオープンを目前にした昨年3月、それまで開館準備を平和資料収集委員会と一緒に進めていた市教委が、突如「731部隊の展示はしない」と言い出したのです。

驚いた平和資料収集委員がその理由を質問すると、市教委は、①731部隊の展示をしている公的な機関はないこと、②政府が、731部隊が細菌戦をしたという公的な資料はないと言っていること、の2点を挙げました。その後何回か市教委や教育長と話し合いをしましたが、一向に進展はありません。

この問題は市議会でも取り上げられ、佐藤市長は、「より良い平和祈念館になるよう様々な市民の意見を聞きたい」と表明。それに基づいて、教育委員会は様々な市民団体から選ばれた13人からなる「展示・活用検討委員会」を新たに設置して、平和祈念館の展示や活用のあり方を話し合っていくことになりました。

平和祈念館を考える会を立ち上げる

平和資料収集委員会のメンバーを中心に市民有志で「平和祈念館を考える会」の準備を重ね、去る1月29日結成集会を開催しました。この集会には、主催者側の予想を上回る市民137人が参加。集会では、731部隊の少年隊であった清水英男さん（92歳）が当時の体験を証言。「加害を含めて子どもたちに戦争のありのままの姿を伝えたい」という平和祈念館への願いを述べました。次に被害と加害の両面から戦争の事実をきちんと後世に伝えるべきだという「平和祈念館を考える会」の設立趣旨が確認されました。

会場には市教委が展示を認めていない731部隊関連の説明や証言のパネル8枚が展示されました。



《平和祈念館を考える結成の結成集会》

第1回「展示・活用委員会」開催

「飯田市平和祈念館展示・活用委員会」の初会合が、2月21日午後7時から開催されました。13人の委員全員が出席。役割交代の口角を交わし、祈念館の見学をしました。出席者全員が意見を述べました。731部隊の説明のパネルがあった方がよいという意見が数人から出たほか、子どもに分かるような工夫が必要という意見が多く出ました。現状でいいという意見は全くありませんでした。

今回は、事務局が今回の意見を整理し、3月か4月に開催を予定。会議での問題点は、委員会の要項を論拠に、「全体の合意を形成する場ではない、意見を聞く場である」との事務局の態度で、委員の多くが発言しても決定権は市教委にあることを強調しています。会議は一般公開ではなく、市教委の説明までが報道機関に公開、委員の意見表明は隣接で音声のみを流す方式がとられました。